



地域の皆さんに私たちの活動状況をお知らせする

活動報告会 を開催しました

2月18日に「春日区地域協議会活動報告会」を開催し、今期協議会委員の4年間の活動について地域の皆さんに報告しました。

今号の「たより」では、活動報告会の様子と、報告内容の一部を紹介します。

報告内容

- 1 委員構成
- 2 活動概要
- 3 活動内容
 - (1) 諮問・答申
 - (2) 地域活動支援事業の審査
 - (3) 地域活性化の方向性
 - (4) 自主的審議
 - (5) その他の活動（地域との情報（意見）交換、研修等の実施）

報告会の資料等は市ホームページからご覧いただけます。



1 委員構成

○人数、男女比

	男性	女性	計
人数	16名	4名	20名
割合	80.0%	20.0%	—
28区平均	82.2%	17.8%	—

○平均年齢 65.0歳（28区平均63.5歳）

※委員就任時（令和2年4月）現在

2 活動概要 ※令和6年2月現在

活動事項	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
地域協議会開催回数	12回	15回	12回	10回	49回
諮問・答申	0件	1件	1件	1件	3件
地域活動支援事業採択件数	22件	21件	23件	—	66件
地域との意見交換会	—	—	1回	1回	2回

3 活動内容

(1) 諮問・答申

「諮問・答申」は、市長が政策判断の参考とするため、区内の公共施設の新設・廃止などの案件について、住民生活に及ぼす影響の観点から地域協議会に意見を聞く制度です。

春日区では、4年間で3件の諮問があり、協議の結果、3件とも春日区の住民生活に影響はないと判断し「支障なし」と答申しました。

年度	諮問案件
令和2年度	つちはし保育園及び春日保育園の廃止について
令和4年度	新市建設計画の変更について
令和5年度	上越市春日山ペタンク場の廃止について



(2) 地域活動支援事業の審査

「地域活動支援事業」は、地域の課題解決や活力向上に向けた活動に対して、必要な経費を補助する制度です。

(※令和4年度で制度終了)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
提案件数	23件	22件	23件
採択件数	22件	21件	23件
区配分額	10,500千円	10,500千円	10,700千円
補助希望額	13,737千円	11,327千円	14,390千円
採択額	10,438千円	7,962千円	10,672千円

春日区では毎年多くの提案が寄せられ、審査は夜中に及ぶこともありました。

地域協議会が地域の団体の皆さんと直接顔を合せ、活動について知ることができたほか、税金の使い道を決めることの難しさ、大切さを学ぶことができました。【太田一巳会長】



(3) 地域活性化の方向性

「地域活性化の方向性」は、議論を進めるうえでの委員間の認識の共有等を目的に全区の地域協議会が作成しているものです。

春日区では、地域のシンボル「春日山」を中心とした活性化の方向性とししました。



春日区の地域活性化の方向性

上杉謙信の居城「春日山城」を活かした観光振興や歴史文化・交流事業を創出・発展させ、地域の活性化や生活環境の改善を目指します。

(4) 自主的審議

「自主的審議」は、自分たちでテーマを決めて地域の課題や活性化などについて話し合うことです。春日区では3つのテーマを決め、テーマごとに分科会で審議を進めました。

〔福祉分科会〕

あらゆる世代が心豊かに健康で暮らせる春日区とする方策について

人口が増加傾向にある春日区でも少子高齢化が進み、住民の地域行事への参加が少なくなっていることから「地域への愛着を育ていけるよう、住民同士の交流促進について協議する」こととしました。

地域への情報収集を行う中で、「いきいき春日野」が取り組んでいる「いきいき春日野ふれあいコンサート」に着目し、「音楽を通じて人と人との交流を促進するため、もっと広域的な活動にしたい」という想いを共有して、地域の町内会長の皆さんに協力を依頼するなど、取り組んできました。

「いきいき春日野」は令和4年度に実行委員会が設立され、団体としても自主的、広域的に活動を始めたことから、今後の活動を見守っていくこととしました。



コロナ禍で世界的に元気が無い中、「町内会が元気になると地域が活性化する」との思いで、春日区内の活動に関する実態調査や地域で活動されている団体の皆さんから活動状況をお聞きし、「人的交流の好事例」から「ふれあいコンサート」に注目しました。

【福祉分科会リーダー 吉田義昭委員】



〔観光分科会〕

春日山城跡の観光振興策について

県内外から観光客が訪れる当市を代表する観光スポットで、地域への愛着や活動の原動力になっている「春日山」。地域の様々な団体が、史跡の保存整備などについて継続的に取り組んでいます。これらのことから「春日山城跡の観光地としての魅力向上や市民を巻き込んだ環境整美について協議する」こととし、市で通年観光計画の策定が進められていることから、審議の結果については市へ意見書を提出することを目標に取り組みました。

意見書は春日山城跡の観光振興の前提とする3つの要素と8つの具体的な取組で構成し、ベースが出来た時点で町内会長連絡協議会(春日山城跡保存整備促進協議会)と情報共有するなど、地域の想いが込められたものです。

これを令和5年12月20日に市へ提出し、今年1月26日に回答があり、2月1日に開催した地域協議会において、担当課から「通年観光計画(案)」と併せ、説明がありました。

「通年観光計画(案)」では、「春日区の地域活性化の方向性」と同様に、協議会の意見書も、市からの回答も同じ方向を向いることが確認でき、一定の成果があったと思われます。



市担当課から春日山に関する説明を受けたほか、春日山の現地視察、上田城跡や松代城跡への視察を行い、意見をまとめました。

意見書には、観光をリードするリーダー等人材の確保や楽市楽座によるにぎわいと交流をもたらすイベントの必要性など、8つの具体的な取組を記しました。 【観光分科会リーダー 吉田実副会】

※意見書及び回答書は市ホームページからご覧いただけます

〔安全安心分科会〕安全・安心に暮らせる春日区とする方策について

春日区には、防災士による活動組織がなく、人口に対し防災士の人数も少ない状況です。

検討にあたり、上越市防災士会からの情報収集や防災士資格の保有者数の確認、災害対応資機材などについてアンケート調査を行いました。

防災活動は地域ぐるみで取り組む必要があるため、上越市防災士会春日支部の設立を目標に「安全・安心に暮らせる春日区とする方策について」をテーマとして協議を進めました。



この結果、地域協議会が発起人となり、上越市防災士会の協力を得ながら令和5年5月に上越市防災士会「春日支部」設立総会を開催し、支部を設立することができました。

支部として自主的に活動を始めたことから、地域協議会は今後の活動を見守っていくこととしました。



防災活動は地域ぐるみでの取組が大切です。設立時には29名の防災士資格保有者が会員となりました。若い方や女性の防災士がもっともって増え、活動が活発になればと思います。【安全・安心分科会リーダー 本多俊雄委員】

閉会

第4期地域協議会委員は、コロナによる行動制限のある中で活動が始まりました。そのような中で、部会をつくり、各リーダーの下活動し、このように皆様に報告できたことを嬉しく思っています。

地域協議会は春日区ならではの課題を話し合う場です。どなたでも声を掛けていただき、様々な課題を皆で解決していく。そのような地域協議会になればいいと思います。【田中裕子副会長】



(令和6年2月18日活動報告会にて)

お問い合わせ先

(地域協議会事務局) 上越市総合政策部地域政策課 中部まちづくりセンター

上越市木田1-1-3 (上越市役所 第一庁舎 3階)

電話：526-1690 (直通) / FAX：526-8363 / E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp